

羅臼岳でハイキング

羅臼岳（1,661m）は、知床半島の中央で北東と南西に連なる火山群である知床連山の中で最も高い山頂です。羅臼岳山頂へと続くコースは 2 つあります。晴れた日に山頂へ行くことができれば、そこを取り囲む山々の景色とオホーツク海を眺めることができます。

知床半島はカナダ南部やモンゴル中部と緯度が近いので、厳しい山岳環境や気象条件となっています。この緯度では、カサマツなどの耐寒性高山植物が山岳地帯の標高 1,100 メートル付近で育ちます。本州では、このような高山植生は、通常、標高 2,000 メートルを超えない限り育ちません。

この地形は起伏に富んでいて、巨大な岩や険しい溪谷もあり、登山口から山頂までは激しい標高変化（1,000 メートル以上）があります。羅臼温泉の登山口から往復すると、所要時間は約 11 時間です。羅臼岳の登山は、経験豊富なハイカーにのみ推奨されます。

登山口とハイキングシーズン

羅臼温泉の登山口は、熊の湯露天風呂の向かいにあり、羅臼ビジターセンターに隣接しています。半島の西海岸にある斜里町の岩尾別温泉には、もう 1 つの登山口があります。一方の登山口から開始してもう一方の登山口で終了することは可能ですが、岩尾別から羅臼へと戻るための公共交通機関は選択肢が限られています。知床のハイキングシーズンは、7 月上旬から 9 月中旬までとなっています。ハイキングを予定している方は、山では 7 月になっても雪が残っていることに注意してください。

クマに注意

羅臼岳を含め、2 つあります。クマは人を避ける傾向があり、音に敏感です。ハイキングに出かける際は、クマよけ鈴を持ち歩き、クマとの遭遇を回避するようにしてください。